

宮崎大学生協 オープンキャンパス

第026号
(通算659号)



[新学期]

取り組み概要

日時：8月10,11日
場所：食堂、図書館、広場
参加者数や組合員の反応：2日間の全ての
ブース合計で300名

背景や概要：大学受験を控える高校生や保護者に向けて大学生活や受験時の相談ができるように大学と協力して行った。

受験生を応援したい！

POINT.1

大学生と交流してみよう！



大学生協が運営する食堂内では食堂の味を体験できるように食堂がオープンしており、大学生協が提供する食事を提供していた。その隣では学生委員会が高校生向けに交流兼相談ができるブースの設置を行った。実際に自分が受験時に苦労したことや、大学で現在学んでいることなどを高校生にお話をしていた。また、気軽に立ち寄れるように看板を持っての宣伝活動も行ったことにより、多くの参加者が足を運ぶ結果となった。

最後にはこれから受験が控えている高校生に向けてエールを送っていた。

POINT.2

保護者の皆さまへ

オープンキャンパスでは高校生が大学の模擬授業を受けることができる。その間保護者は時間ができてしまうため、その時間を利用して図書館で大学生協から説明会を行った。

内容は大学生活中の保障の説明や費用についてである。また、学生から説明を行なうことで保護者にも普段の大学生活を知ってもらうきっかけとなった。これから受験を控えている高校生の保護者だからこその準備についていち早く知ることができる内容となっていた。



POINT.3

通りすがりでも



自分の体験したい講義も終わり、どうしようかと迷っている高校生とその保護者が気軽に立ち寄って相談ができるテントをいくつか設置した。そこでは簡単な質問対応や、資料配布を行った。

また、8月の猛暑の中を歩く参加者に向けて飲み物配布も行った。そこでも飲み物だけでなく、質問をしたり資料の受け取りができたりしていた。

自分から声をかけづらいという人のためにも学生委員が積極的に声掛けを行い、参加者の不安解消になっていた。

つながる元気、ときめきキャンパス。



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

ご質問や[Q BK NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [細川匠]
Hosokawa.Takumi@univ.coop

